

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
 担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道45号 ^{はちのへ} 八戸バイパス		事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自：青森県八戸市大字 ^{はちのへ} 妙字 ^{みょう} 西ノ平 ^{にしのだい} 至：青森県八戸市大字市川町字田ノ沢頭 ^{いちかわまち たのさわがしら}		延長 13.5 km	
事業概要 一般国道45号は、宮城県仙台市と青森県青森市を結び、広域交流の促進及び三陸沿岸市町村の連携強化を図る重要な幹線道路である。 八戸バイパスは、八戸市内の交通混雑解消、沿道環境の改善などを目的としている。			
S40年度事業化		S48年度都市計画決定	S41年度用地着手
S44年度工事着手			
全体事業費	約290億円	事業進捗率	94%
計画交通量	26,500台/日	供用済延長	11.4 km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 4.4 (残事業) 4.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 25/645億円 事業費：14/574億円 維持管理費：11/71億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 99/2,831億円 走行時間短縮便益：93/2,711億円 走行費用減少便益：4/68億円 交通事故減少便益：2/53億円
基準年 平成15年			
事業の効果等 ・物流効率化の支援（重要港湾八戸港へのアクセス向上が見込まれる） ・安全で安心できるくらしの確保（第三次救急医療施設八戸市立市民病院へのアクセス向上が見込まれる） 他16項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 八戸バイパスは、八戸市内の渋滞緩和、また近隣市町村との連携強化等に重要な役割を果たすことが期待され、八戸市より、バイパス早期整備に関する要望（H15.7.11）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】 事業費：270億円（進捗率94%） うち用地費：71億円（進捗率97%）			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残区間について用地協議を進めているが、関係人が多いことに加え、店舗や移転家屋等の物件が多いことから交渉に時間を要しているが、平成10年代末の完成供用を目標に事業推進を図る。			
施設の構造や工法の変更等 ・工期短縮に効果的で、経済的でもあるプレキャスト製品の長尺化等、コストの縮減を図る。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

